

§ 専門批評 §

生徒氏名 _____ ○○○○ _____

課題名 _____ 一般小論文 第2回 人間のいのち _____

《概評》

*基礎力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D
*習得力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D
*考察力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D
*表現力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D

《総合評価》

A B C D

《講評》

インパクトがある論考でした。よく出来ています。

詳しくは本文中の赤を参照すると共に、解答例をご覧ください。

「人間のいのちをその人の都合で早めたり、遅くしたりするのは、自然に反していると思う。人間には寿命というものがあり、それを全うするのが自然であると思う。故に、「尊厳死」や「延命治療」は反対である。」という要点が最後に述べられているので、主張の意味がはっきりされていて、よい小論だと思いました。

人間のいのち、生きる、生きるのをやめることに関連して、尊厳死と延命治療についての考えに焦点が当てられました。

800字を書くのは、案外大変で、あるアイデアによる文のかたまりを、いくつか構成しないと800字にならないので、一苦勞ですね。

尊厳死のドキュメンタリー ボケる前に尊厳死を遂げる最後への違和感

延命治療 本人の意思表示がないと止められない植物人間状態

いのちの自然 子供を授かった時の体験 自然の一部だというアイデア

いくつかの、アイデアが配置されて、論述が構成されています。2時間かけただけのことがありますね。

論考のポイントとしては、いろんな立場から、是非や問題点を整理するなど、バランスのとれた議論をするというのがあります。

本件では、医療行為の技術の進展によって、昔のガンのように治療がもうできない状態に至った時に、苦痛の多い治療を続けて死に至るのと、治療ではなくペインコントロールを加えて穏やかな生活を保障する終末ケアの問題が出てきたと思います。これも延命治療、尊厳死に対する問題です。ただガンに限らず、心臓病や交通事故、さらに認知症の場合の治療についても延命治療か、尊厳死・安楽死の問題がいろんな、きわどい問題を招いています。自殺ほう助の罪を問われる医師や家族もいます。社会が合法化すると、意識のない人を殺すことになりかねないという恐ろしさも出てきます。ひとひとりが、自分の思うように生き、死ぬことは思うほどかんたんではありません。一方で、単身者の誰にも気づかれない孤独死があるのに、ひとりになれないひとも、普通の人ですね。

生きているのがあまりにも辛いから、死なしてあげようというのは、やはり倫理の問題ですが、人がやってはいけないことだと思います。その辛さの極限にいる人に対し、できることとできないことがあると思います。

最後に、自然に反しているか、否かというのは、価値観のもちかたとして、もっともだと思います。人間は自然を操作して、原料として製品を製造し同時に、産業廃棄物を作ってきて、自然を変えてしまったという反省もあります。

またルソーの教育思想に、自然主義と言うのがあって、子どもに早いうちから善悪を教えると、かえって人を差別するような副作用が生まれる。自然の中で学べるのが大事だという思想があります。

また自傷他害を防ぐという倫理とも関連しています。

人間のいのちと聞いて、まず頭に浮かんだのは、「尊厳死」と「延命治療」である。一見、正反対のことにように思えるが、自然に反しているという点では同じであると思う。人間は自然の中の一つであるので、どちらも反対である。

以前、テレビ番組で、老父がぼける前に死にたいという理由から尊厳死を選ぶというドキュメンタリーを見たことがある。その国は尊厳死を認めており、老父は妻や子どもたちが見守る中、尊厳死を遂げる。静かな最期だったが、何か違和感があった。不自然なのだ。

延命治療はというと、点滴1本でも延命治療になり、家族が本人の意思とは別に、一旦、それを希望すると、今度は本人の意思がないと止められない。たとえ本人が植物人間になり、意思表示ができなくてもである。これもまた不自然である。

人間のいのちというのは自然である。そう感じたのは子どもがお腹に宿ったときである。もちろん、勝手にできたのではなく、働きかけがないと誕生はしないのであるが、精子と卵子が結びつき、一人の人間が誕生する。

初めて子どもが授かったとき、まだ、お腹の中にいるのかどうか、外からは全く分からない時期である。陽が昇ると、自分は眠っているのに自然に体が伸びをし、活動し始めた。逆に、夜になると落ち着いてくる。ちょっとしたことであるが、科学や医学などが発達して、人間はどんなことでもできるのではないかと思える世の中になってきたが、人間もやはり自然の一部なのだと強く感じた。

人間のいのちをその人の都合で早めたり、遅くしたりするのは、自然に反していると思う。人間には寿命というものがあり、それを全うするのが自然であると思う。故に、「尊厳死」や「延命治療」は反対である。

解答所要時間：約2時間